

問1 主要な農作物の統計において、中国の小麦の生産量は約1億2193万tで輸出量は約56万tであるのに対し、アメリカ合衆国の小麦の生産量は約5797万tで輸出量は約3469万tとなっています。このデータから読み取れる、アメリカ合衆国の農業の特徴として最も適切なものはどれですか。

(2019年 熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------------------------------------|--|----------------------------|--|
| 1. 中国よりも生産量は少ないが、生産量に対する輸出量の割合が非常に高い。 | 2. 生産量・輸出量ともに中国を大きく上回っており、国内自給に特化している。 | 3. 中国よりも生産量が多く、輸出も世界最大である。 | 4. 国内での消費量が多いため、生産量に占める輸出量の割合は中国よりも低い。 |
|---------------------------------------|--|----------------------------|--|

問2 アメリカ合衆国の社会において、ヒスパニックの人口が増加している背景やその影響について述べた文として、正しいものはどれですか。

(2017年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. スペイン語を話す労働者が増えたため、選挙や宣伝活動でスペイン語が使われる機会が増えている。 | 2. 19世紀にヨーロッパから移住してきた人々が中心となり、伝統的なキリスト教文化を広めている。 | 3. アメリカ合衆国の公用語が英語からスペイン語に変更される動きが、連邦議会で決定した。 | 4. 主にアジア諸国からの移住者が多いため、西海岸の都市部において仏教徒が急増している。 |
|--|--|--|--|

問3 アメリカ合衆国において、北緯37度より南側に位置し、1970年代以降に航空宇宙産業や情報通信産業などの先端技術産業が急速に発達した地域を何と呼びますか。

(2017年 山口県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|-----------|------------|-----------|
| 1. サンベルト | 2. スノーベルト | 3. シリコンバレー | 4. ラストベルト |
|----------|-----------|------------|-----------|

問4 北アメリカ大陸の北部に位置するカナダについて、主要7カ国首脳会議（G7サミット）の開催都市の一つにもなったことがある、この国の首都として正しいものはどれか。

(2024年 大阪府公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|---------|------------|--------|
| 1. バンクーバー | 2. トロント | 3. モントリオール | 4. オタワ |
|-----------|---------|------------|--------|

問5 アメリカ合衆国では、隣接するメキシコや、その他の中南米諸国から移り住んだ人々の割合が非常に高まっています。これらの人々のうち、共通してスペイン語を話す人やその子孫を何と呼びますか。

(2023年 福島県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|----------|---------|-----------|
| 1. イヌイト | 2. アボリジニ | 3. ムスリム | 4. ヒスパニック |
|---------|----------|---------|-----------|

問6 世界の大陸における気候区分別の面積割合を比較した統計において、亜寒帯（冷帯）が約43%、寒帯が約24%を占め、大陸全体の6割以上が寒冷な気候に属しているという特徴を持つ大陸はどれですか。

(2020年 福岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------|-----------|------------|--------------|
| 1. 北アメリカ大陸 | 2. アフリカ大陸 | 3. 南アメリカ大陸 | 4. オーストラリア大陸 |
|------------|-----------|------------|--------------|

問7 アメリカ合衆国における工業の発展と地域の関係について、20世紀前半に五大湖周辺のピッツバーグで発達した産業と、近年サンフランシスコ郊外のシリコンバレーで急速に成長した産業の組み合わせとして正しいものはどれですか。

(2019年 徳島県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------------------------|--------------------------------|------------------------------|--------------------------------|
| 1. ピッツバーグ：鉄鋼業、シリコンバレー：繊維工業 | 2. ピッツバーグ：先端技術産業、シリコンバレー：自動車工業 | 3. ピッツバーグ：鉄鋼業、シリコンバレー：先端技術産業 | 4. ピッツバーグ：自動車工業、シリコンバレー：先端技術産業 |
|----------------------------|--------------------------------|------------------------------|--------------------------------|

問8 冷帯（亜寒帯）が分布する北アメリカ大陸北部などの高緯度地域において、冬の寒さが非常に厳しくなる理由として最も適切なものを選びなさい。

(2025年 岩手県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------------------------------------|--|---|--|
| 1. 赤道から遠く離れているため、夏の期間が存在せず年中氷点下が続くから。 | 2. 年中風が強く吹き荒れるため、地表の熱がすべて熱帯地域へ運ばれてしまうから。 | 3. 周辺の海域を流れる暖流の影響によって、強い寒気が大陸内部へ押し出されるから。 | 4. 冬の間は太陽の高度が低く、日照時間も短いため地表が受ける熱量が少なくなるから。 |
|---------------------------------------|--|---|--|

問9 オーストラリアの産業には鉄鉱石の輸出や羊の牧畜という特色があり、アメリカ合衆国には世界有数の人口規模や大豆の生産という特色があります。これらの国々に共通する、世界の食糧供給における役割や地理的背景について述べた文として適切なものはどれですか。

(2022年

大分県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 熱帯の気候を活かして、プランテーションによるバナナや天然ゴムの生産を最大の特徴としている | 2. 広大な平原などを利用して小麦の生産を大規模に行い、主要な輸出国のひとつとなっている | 3. 国土の半分以上が乾燥帯に属することを利用して、自動車産業を国の主力としている | 4. 国際連合の安全保障理事会における常任理事国として、世界の資源価格を決定している |
|---|--|---|--|

問10 北アメリカ大陸の気候と自然環境について、西経100度の経線付近を境とした降水量の変化を説明したものとして、正しいものはどれですか。

(2021年 宮城県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. この経線付近は大陸で最も降水量が多く、東西に離れるほど乾燥した気候になる。 | 2. 西側では年降水量が1000mmを超える地域が広く分布するが、東側では一部を除き500mm未満となる。 | 3. 北極からの寒気の影響により、この経線より北側の地域のみ降水量が極端に少なくなる。 | 4. 東側では年降水量が500mmを超える地域が広く分布するが、西側では一部を除き500mm未満となる。 |
|--|---|---|--|

問11 アメリカ合衆国のピッツバーグが、世界有数の鉄鋼業の街として発展した地理的な理由として、最も適切な説明はどれですか。

(2022年

群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 近隣で石炭と鉄鉱石を容易に得ることができ、五大湖などを結ぶ水上交通も利用可能であったから。 | 2. 西部の山岳地帯で産出される金鉱や銀鉱の加工拠点として、内陸鉄道網が集中していたから。 | 3. メキシコ湾沿岸で産出される石油と天然ガスを主な原料とし、パイプライン網が整備されていたから。 | 4. 安価な労働力が豊富に得られるメキシコとの国境付近に位置し、輸出拠点として有利だったから |
|--|---|---|--|

問12 北アメリカ大陸の西海岸、サンフランシスコ周辺に見られる気候の名称として正しいものはどれですか。この地域の雨温図を確認すると、年平均気温が約13.5度で温帯に属しており、6月から8月の夏季に降水量が極端に少なく、逆に12月や1月の冬季に降水量が多くなる「V字型」の降水パターンが特徴です。

(2024年 奈良県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|------------|
| 1. 温暖湿潤気候 | 2. 地中海性気候 | 3. 熱帯雨林気候 | 4. 西岸海洋性気候 |
|-----------|-----------|-----------|------------|

問13 ある統計資料において、日本からアメリカ合衆国への輸出割合が20.2%で第1位となっている背景として、最も関連の深い事象はどれですか。

(2019年 岩手県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. アメリカ合衆国の輸出総額が世界第1位であり、世界中のすべての国にとって最大の輸出相手国となっているため。 | 2. 日本とアメリカ合衆国は陸地で国境を接しており、トラックなどによる輸送コストが非常に低く抑えられているため。 | 3. 日本にとってアメリカ合衆国は、自動車などの工業製品の主要な市場となっており、長年にわたり経済的な結びつきが深いため。 | 4. 日本は環太平洋地域のすべての国に対して、一律に20%以上の輸出を行うことが国際的な協定で義務付けられているため。 |
|---|--|---|---|